

主催 和歌山大学 国際観光学研究センター、観光学部  
後援 (予定) 観光庁、  
和歌山大学観光学部同窓会「飛耀会」、  
和歌山大学経済学部同窓会「柑芦会」東京支部



観光教育研究セミナー *in* 東京 2017 Vol.2

# これからの 観光とDMO

2017年 12月2日 (土)  
15:00 ~ 18:00 (受付 14:30 ~)

会場 フクラシア品川クリスタルスクエア (港南口) 3階 会議室G  
(〒108-0075 東京都港区港南 1-6-41 \*JR 品川駅港南口/京浜急行品川駅から徒歩8分)

定員 100名

参加費 無料 ※事前の申し込みが必要です。裏面をご参照ください。

話題提供① 「地域づくりにおける観光の役割 —DMOを中心に—」

講師 米村 猛 国土交通省観光庁 観光地域振興部長

話題提供② 「熊野古道に外国人観光客を呼び込む着地型観光」

講師 多田 稔子 一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長、和歌山大学観光教育研究アドバイザーボードメンバー

話題提供③ 「DMOの歴史と役割 —ニュージーランドの事例—」

講師 永井隼人 和歌山大学観光学部 講師 / Adam Doering 和歌山大学国際観光学研究センター 准教授

パネルディスカッション 「これからの観光とDMO」

モデレーター 竹林 明 和歌山大学観光学部 教授、同国際観光学研究センター DMO 研究ユニット サブリーダー



## プログラム

- 14:30 受付開始・開場
- 15:00 開会挨拶 竹林 明 (和歌山大学 観光学部 教授、同 国際観光学研究センター DMO 研究ユニット サブリーダー)
- 15:10 話題提供①  
「地域づくりにおける観光の役割 —DMO を中心に—」  
米村 猛 (国土交通省観光庁 観光地域振興部長)
- 15:35 話題提供②  
「熊野古道に外国人観光客を呼び込む着地型観光」  
多田 稔子 (一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長、和歌山大学観光教育研究アドバイザーボードメンバー)
- 16:00 話題提供③  
「DMO の歴史と役割 —ニュージーランドの事例—」  
永井 隼人 (和歌山大学観光学部 講師) / Adam Doering (和歌山大学国際観光学研究センター 准教授)
- 16:25 コーヒーブレイク
- 16:55 パネルディスカッション 「これからの観光と DMO」  
モデレーター : 竹林 明
- 17:55 閉会挨拶 藤田 武弘 (和歌山大学 観光学部長、同 国際観光学研究センター長)



## 講師紹介



### 米村 猛 (よねむら たけし)

国土交通省観光庁 観光地域振興部長

北海道札幌市出身。京都大学法学部卒業。1989年4月、通商産業省(現・経済産業省)入省。経済産業大田秘書官、内閣官房内閣参事官(副長官補室)、内閣官房日本経済再生総合事務局参事官、中小企業庁長官官房参事官、島根県警察本部長(警視長)等を経て、2017年8月より現職。



### 多田 稔子 (ただのりこ)

一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長、和歌山大学観光教育研究アドバイザーボードメンバー  
和歌山県出身。和歌山大学教育学部卒業。2006年5月、田辺市内5つの観光協会で組織する「田辺市熊野ツーリズムビューロー」会長に就任。2010年5月、法人格を取得し一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューローが設立。代表理事となり、会長に就任する。本業の株式会社双美商会(ビルメンテナンスや人材派遣業を営む)では、取締役副社長として経営参画する。その他主な公職、田辺商工会議所常議員、和歌山県景観審議会委員、和歌山大学観光教育研究協議会委員など。



### 永井 隼人 (ながい はやと)

和歌山大学観光学部 講師

兵庫県神戸市出身。豪州クイーンズランド大学ビジネススクール(ツーリズム・クラスター)博士課程修了。博士号取得。和歌山大学国際観光学研究センター講師を経て、2017年4月より現職。主な研究分野は観光マーケティング、観光行動論、リスクマネジメント。



### Adam Doering (アダム ドーリング)

和歌山大学国際観光学研究センター 准教授

日本におけるDMOの歴史、役割、現在の課題を研究。帰属、倫理、変遷と創造、およびサステナブルな旅行、モビリティ研究、クリティカルツーリズム研究における議論など「place-making」がテーマ。

## 和歌山大学国際観光学研究センター DMO 研究ユニット

インバウンド観光の多様化や増加への対応、また地域への誘客活動などを円滑に行うためには地域での諸活動を調整、統合するための中核推進機関が必要となる。本研究ユニットでは、地域および観光目的地のマネジメント、サービス・ホスピタリティの向上及び経済的発展を推進する中核としての日本版DMOの普及促進や課題について主に産官学連携を重視して取り組んでいる。

### 参加申込方法

Eメールでのみ、参加申し込みを受け付けます。  
本文に「お名前」「ご連絡先電話番号」をご記入のうえ、右記アドレスまでお申し込みください。

\* 参加申込期日：2017年11月24日(金)17時

### 参加申込・お問い合わせ先

和歌山大学 国際観光学研究センター

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 経済学部南棟 1階  
TEL/FAX：073-457-7025

E-mail：info-ctr@center.wakayama-u.ac.jp

HP：http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/